

いきいき人生

2019年
3月号
vol.174

公益社団法人大田区シルバー人材センター

〒144-0055 大田区仲六郷1-6-9-125
TEL.03-3739-6666 FAX.03-3734-0722 E-mail.ota@sjc.ne.jp
<https://www.ota-sjc.or.jp>

会員数 3,142名
男 1,883名
女 1,259名
2019年1月現在



特集

ハツラツ!会員の声



鈴木 孝子 さん【特別養護老人ホーム居住者シーツ交換作業】

「居住者さんの笑顔がうれしいです」



センターの「受注情報一覧表」を見て、自分に合った仕事だと思い、申し込みました。すぐに就業先が決まり、現在、大田区内の特別養護老人ホーム2ヶ所のシーツ交換を、1ヶ月10日以内のローテーションで行っています。

居住者さんとも顔なじみになり「待っていたよ」と必ず握手をしてくださる方もおります。

居住されている方はさまざまですが、どんな時も心からの笑顔で接するように心がけています。

作業は二人一組で行い、担当したベッドのシーツやカバー類を手際よく丁寧に交換し、時間内に終えた時の充実感は格別です。仕事仲間とのチームワークもよく、就業日が楽しみです。

何事にも興味を持ち、前向きに生きることをモットーにしており、80歳代の私にもできる仕事があることに感謝しています。

堀 行夫 さん【自転車整理業務・調布班】

「笑顔と仕事は心のビタミンです」

勤労意欲と健康維持のため、あわせて何か地域のお役に立てればとの思いで3年前に入会しました。

「薬剤投入」「ちょこっとサービス」などを経験し、現在は12人の仲間といっしょに自転車整理業務に従事しています。酷暑、寒風など大変な季節もありますが、顔なじみになった利用者の方々と笑顔で挨拶を交わし、四季を直接肌で感じながらの仕事は健康維持にも最適です。

「笑顔で挨拶」「笑顔で自転車整理」をモットーにこれからも楽しんでいきたいと思っています。

また、仕事の合間をみても、趣味の写真撮影や編集も大いに楽しんでいます。



上坊 隆輔 さん【障がい者総合サポートセンター受付業務】

「地域の皆さんと交流ができ、生きがいを感じます」



定年退職後シルバー人材センターに入会しました。最初は馬込東中の学校管理を3年間就業してから、大森赤十字病院隣の「障がい者総合サポートセンター」の受付業務に勤務し、4年目になります。

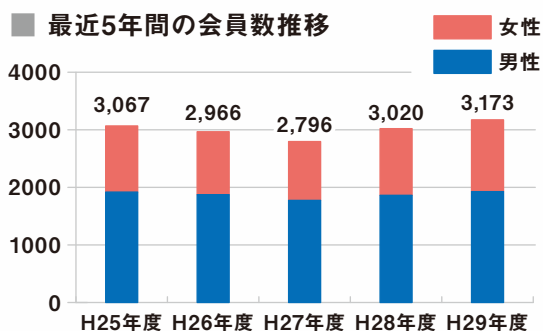
仕事は、来館された方に館内施設の案内などをすることです。会員4名で週に

2～3回のローテーションです。土、日、祝日は2交代制です。来館者の対応には、親切、丁寧に、笑顔で案内することを心がけています。利用者とコミュニケーションがうまく取れて「ありがとう!」の言葉をいただいた時には、喜びを感じます。

その他、ブロック役員も経験して、現在は新井宿の環境美化活動で、毎月「ポイ捨て、ゴミ拾い会」に参加しています。仕事とボランティアによって、地域の皆さんと交流ができ、多少の社会貢献ができ、生きがいを感じています。

トピックス

当センターの会員増加数が全国で第3位!



5年間の大田区シルバー人材センターの会員数の推移
(赤は女性、青は男性)

全国シルバー人材センター事業協会により最近2年間の会員数の増減データが発表されました。その中で、当センターの会員増加数が全国で3位にランクされたことが報告されています。ここ数年の入会促進に向けた努力の成果と言えます。

■ H29年度末とH27年度末の会員数の比較

順位	センター	増加人数
1	神戸市	893
2	鹿児島市	640
3	大田区	377
4	北九州市	249
5	札幌市	248
6	米原市	195
7	荒川区	186
8	八王子市	181
9	さいたま市	172
10	柏市	168

平成29年度末と平成27年度末の会員数の比較
「月刊シルバー人材センター」より

シルバー人材センターは全国のほとんどの市区町村にあり、その数は1300以上になります。その中での上位ランク入りは素晴らしいことです。仕事やボランティアの仲間が増えることでセンターの活動がさらに活発になることが期待されます。

レポート 英会話講座が開かれました



上 英会話ははじめの一步
コースの様子
下 日常英会話コースの様子

平成30年度に新たに企画された取組みで、前期・後期各6回の講座です。目的は、会員に英語で話す楽しさを実感してもらい、英語を使ったボランティア活動につなげていくことです。講師は英会話の経験があるシルバー会員です。

「はじめの一步」と「日常会話」の2コースがあり、それぞれ当センター本部において十数人の会員が集まり受講しました。3班に分かれ講師3名による学習で、テキストを基本にCDも活用した講座です。講師の海外勤務などの体験談も盛りこみながら、和やかな雰囲気の中で学んでいました。

英会話の学習は、視聴覚以外に声を出す、スペルを書くなど脳の活性化にもつながります。参加者は一生懸命受講していました。

社会奉仕 保育ボランティアを行いました!



上 保育ボランティアの
シルバー会員
下 会場の本蒲田児童館

1月24日(木)、本蒲田児童館で行われた「乳幼児の救急蘇生講習会」で会員3名が保育ボランティアを行いました。講習会は消防署員指導のもとAEDやマネキンを使って実習するというものです。

「お子さんといっしょに受講できます」という講習会のため、ボランティアの内容は12名の受講者といっしょに来場した14名の乳幼児の保育です。受講が円滑に行われるよう、子どもたちに危険がないように見守り、いっしょに遊んだりします。

保護者と同室のため、子どもたちも機嫌よく、ボランティアの会員も「小さい子どもとふれあえて楽しかった」「赤ちゃんのやわらかさがいいですね」など、笑顔で話していました。

イベント

スケアード・ストレイト 1月12日(土) 区立田園調布中学校

自転車のルールを再認識するイベントに参加



上左 車と衝突
上右 自転車同士で接触
下 イベントに参加した会員

スケアード・ストレイトとは

SCARED STRAIGHT。「恐怖を直視させる」の意味で、スタントを通じて事故の衝撃や恐ろしさを視覚的に理解させる方法です。

自転車安全教室が田園調布警察署の主催で行われ、当センターから18名の会員が参加しました。

実施内容は、時速40kmの車が自転車に衝突、違反自転車が歩行者を跳ね飛ばす、自転車同士の接触事故、などの再現で、本職のスタントマンが繰り広げる迫真の演技に見学者は思わず目を覆ったり、息を飲んだり、予定のプログラムは瞬く内に終了しました。

区の計画担当者からは、「本年度の自転車事故の負傷者563人中、高齢者は157人と全体の約28%を

占めています。シルバー世代の方々には、自身の事故防止に資するとともに、次代を担う子どもたちのお手本となって自転車事故の撲滅に協力していただきたいです。」と話がありました。

参加者からは、「衝突の衝撃はとても恐ろしかったです。思わず身震いしました。」や「ルールやマナーの遵守の大切さを再認識しました。」などの感想が寄せられました。

安全コーナー

傷害事故件数減少!13年間で2番目の記録間近

平成30年度における当センターの傷害事故は、会員の皆様の努力で平成18年度から13年間で、過去2番目に少ない件数で推移しています。

本年度の傷害事故件数は、就業中の事故が2件で、就業途上の事故が6件となっており、このまま年度末まで無事故で過ごせれば、今年度3月末日には過去2回の年度事故7件に次ぐ件数となります。

また、就業中の傷害事故件数は、過去1回の記録が残る2件に並び、最少のタイ記録が達成可能な状況になっています。これは会員の皆様が危機管理を意識し、安全に気を配っている証です。安

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
就業中	8	10	10	10	6	15	9	6	2	4	10	9	2
途上	2	4	3	8	4	9	8	1	7	3	1	5	6
合計	10	14	13	18	10	24	17	7	9	7	11	14	8

(1月15日現在)

全作業の推進は自分自身の健全な心身を養う糧となり、発注先からの信頼につながります。

傷害事故件数の減少は、就業と社会参加に生き甲斐を求める会員の皆様に、なくてはならない条件であり、目標だと思えます。ぜひ傷害事故防止にご協力のほどをお願いします。

適正・安全委員会

大田区からのお知らせ

大田区では、区内及び品川区の一部の公衆浴場を1回200円で、年間36回(6回/2月)まで入浴できる、「いきいき高齢者入浴証」を発行しています。

■ 対象者

区内に住民登録があり、現に居住している満70歳以上の方。(介護老人福祉施設等に入所の方を除きます。)
※平成31年度に満70歳に到達する方(昭和24年4月2日～昭和25年4月1日生れ)を含みます。

■ 申請方法

地域包括支援センター、シニアステーション、老人いこいの家、地域福祉課へ申請書を持参又は申請書(はがき)に62円分の切手を貼って高齢福祉課まで郵送してください。

■ 平成31年度の新規申込み

平成31年3月1日(金)から平成32年2月29日(土)まで受け付けます。

※平成30年度の入浴証は、平成31年2月28日(木)まで受け付けます。

■ 平成30年度入浴証をお持ちの方

3月までに、平成31年度用の入浴証をご自宅に郵送いたします。(申請書の提出の必要はありません。)

問合せ先：大田区高齢福祉課

TEL.03-5744-1252 FAX.03-5744-1522

清掃研修のご案内

新たに清掃業務をやってみたい方、すでに清掃業務に携わっている方、どなたでも参加できます。定員10名です。ふるってご参加ください!

日程：3月26日(火) **時間**：14時～15時30分

会場：こらば大森・寺子屋(大森西2-16-2)

服装：動きやすい服装

持ち物：「清掃の基本」(黄色の冊子)

参加申込みは TEL. 03-3739-6666 事業部まで

就業相談のお知らせ

次の日程で就業相談(就業上のトラブルや悩みの相談)を予定しています。

相談日時	3月15日(金)13時30分
場所	センター本部 作業室
申込方法	会員番号・氏名・住所・電話番号を任意の紙にご記入の上、本部に郵送又はご持参ください。

問合せ先:事務局 鈴木 03-3739-6666

理事会報告

平成30年度 第10回理事会 1月23日

(承認された議案)

- ①新規入会承認の件
- ②「就業の基準に関する要綱」の一部改正の件
- ③平成31年度定時総会日程の件
- ④平成30年度ボランティア活動の件(追加)
- ⑤固定資産の処分について

(報告事項)

- ①委員会報告
- ②就業開拓員の活動報告(12月分)
- ③入退会の報告(12月分)
- ④事業実施状況報告(12月分)
- ⑤傷害・賠償事故報告
- ⑥事務局報告

シルバーサロンのご案内

センターでは下記の施設で毎週木曜日(祝日を除く)にシルバーサロンを開設しています。

会員同士が交流する場です。就業や趣味に関する話をしたり、もの



づくりをしたりして、楽しい時間を過ごしませんか。会員以外の参加も歓迎しますので、是非一度お立ち寄りください。

施設名	住所	開設時間
大森西作業所内・寺子屋	大森西 2-16-2 こらば大森 1 階	10時～13時
調布分室	田園調布本町 7-1 嶺町特別出張所地下1階	13時～16時
蓮沼分室	西蒲田 3-19-1 ふれあいすぬま 1 階	10時～13時

※開催日程に変更がある場合はホームページでお知らせします。

「健康診断受診調査」・「就業に関する調査」に関するお願い

「健康診断受診状況調査」及び「就業に関する調査」を実施します。

「健康診断受診状況調査」は会員の安全就業基準に基づき、会員が自身の健康状態を把握することを促進するために実施します。

「就業に関する調査」は各会員の状況をセンターが把握することで、就業を希望する会員に合った就業の獲得及びマッチング効率のアップを目的に実施するものです。

調査の詳細は本紙に同封している各書類をご確認ください。ご協力いただきますようお願いいたします。